

農業経済学特論Ⅱ (2単位)

担当者氏名 北田紀久雄

◆学習・教育目標 (到達目標を記載)

農業生産を担当する経済主体としては、農家や生産組織、農業法人等の農業経営体がある。これらの農業経営体を経済的に評価・分析していく視点としては様々なものがある。この講義では、これらの経営体について、簿記学・会計学という学問的分野から接近を試みるものである。すなわち、本講義では、農業経営体を会計学の視点から整理し、農業会計・複式簿記の適用、それを利用した経営分析や診断、経営計画の手法を学ぶことを課題とし、それを実践的に活用できるレベルを目指す。

◆取り扱う領域 (キーワードで記載)

会計学	複式簿記	貸借対照表	損益計算書
財務諸表分析	経営診断	経営計画	線形計画法

	テーマ	内容	準備学習(予習復習)等の内容と分量
1	授業のねらいと内容	・ 授業の進め方・評価、参考文献の紹介	<ul style="list-style-type: none"> ・ 事前に紹介した参考文献や配布プリントの参照しておくこと。予習に毎回1時間を割くこと。 ・ 授業終了後には授業内容を踏まえて、参考文献やプリントを参照して理解を深めること。復習に毎回1時間を割くこと。 ・ 不明な点は授業中に積極的に質問すること。
2	簿記・会計1	・ 簿記・会計の基礎	
3	簿記・会計2	・ 簿記の原理と財務諸表	
4	簿記・会計3	・ 取引と仕訳	
5	簿記・会計4	・ 総勘定元帳と転記	
6	簿記・会計5	・ 決算整理・決算	
7	簿記・会計6	・ 財務諸表の作成	
8	財務諸表分析1	・ 財務諸表の見方	
9	財務諸表分析2	・ 財務諸表分析とは	
10	財務諸表分析3	・ 収益性、安全性などの分析	
11	財務諸表分析4	・ 損益分岐点分析などの分析	
12	経営計画法1	・ 経営計画手法とは	
13	経営計画法2	・ 線形計画法の基礎	
14	経営計画法3	・ 線形計画法の応用	
15	総括	・ 授業の取りまとめ、重要事項の整理	

◆教科書及び資料 (授業前に読んでおくべき本・資料)

書名／著者／発行所 (発行年)

とくになし

◆授業をより良く理解するために便利な参考書・資料等

書名／著者／発行所 (発行年)

現代農業簿記/古塚秀夫他/農林統計出版(2009)、線形計画法による農業経営の設計と分析マニュアル/農水省農研センター/農林統計協会(1999)

◆評価の方法 (レポート・小テスト・試験・課題等のウェイト)

授業中における理解度・質疑(60点)、課題提出(40点)などを総合的に判断して評価する。

◆オフィスアワー

毎週月曜日の午前中、研究室で質問を受け付ける。

◆その他受講上の注意事項

教員から教わるのではなく、自ら問題意識をもって授業に臨むこと。
受講生の要望などを考慮して、講義内容は適宜変更したい。
